ロジカル・ライティング　2月16日の最終セッションは

どげんかせんといかん

問題点とその解決策を述べる

というユニークお題でした。

本選入りした全14作品を、キビシイ審査員の目で、まずはごらんください。
問題点提示の論理性は？　解決策の具体性や実現可能性は？

結果、どげんか大賞を獲得したのは？
40余人で出した結論。作品集のあとの講評欄にてどうぞ。

汚い部屋を
どげんかせんといかん！

明日のために、その1

服を出しっぱにしない！

明日のために、その2

週２でコロコロをする！

明日のために、その3

ゴミを溜めない！

明日のために、その4

布団をたたむ！

「どげんかせんといかん」

日本の白地図に都道府県名を入れよという問題を出すと、今どきの学生のほとんどは正確に記入することができない。東京近辺在住者なら関東地方はまだなんとかなる。栃木県と群馬県がひっくり返る頻度はわりと高いが、埼玉県と東京都がひっくり返ってぎょっとするのは稀だ。しかし関東地方を離れるととたんに信じられない「地図」がそこに展開される。沖縄県が九州の中に入ってくることは日常茶飯事だ。まして宮崎県と大分県をきちんと区別できるなんて、かなりの上級者なのだ。

こんなご時世だからこそ、「どげんかせんといかん」のインパクトは大きい。

宮崎はかつて昭和 30,40 年代「新婚旅行のメッカ」として人気の観光地だった。彼らの両親の世代は、むしろそんな宮崎になじみが深いかもしれない。南国イメージを植え付け、ブームを巻き起こした宮崎は、オイルショックや沖縄県の返還とともに、次第に「南国」の地位を失っていった。さらにバブル期の頃リゾート法（総合保養地域整備法）の第 1 号指定だったシーガイアは、「第 3 セクターとしては過去最大の負債で会社更生法の適用を受けた」ということで逆に有名になってしまった。いつのまにか、お隣の大分県の方が一村一品運動の展開や湯布院や安心院といった新しい観光地でイメージも人気も向上している。

	宮崎県	大分県
面積	6,346.14km2	5,099.25km2
人口	115 万人	121 万人
観光客入込数	12,166,000 人	54,589,036 人

宮崎県と大分県を面積、人口、観光客入込数とで比較してみよう。人口密度は地理的な問題もからむかもしれないが、観光客入込数のこの違いはどうだろう。

宮崎、大丈夫か！？　「どげんかせんといかん」の背後にはこんな問題もあったのではないだろうか。

「どげんかせんといかん」と叫び続けた人物は県知事に就任し、シーガイアが破綻したとき以上に宮崎はニュースになった。映像も地図も頻繁に登場した。県庁訪問ツアーまで登場した。さらに 2007 年の流行語大賞も受賞した。「方言が受賞することは今の世相、地方間格差を如実に表している。宮崎だけでなく地方をどげんかせんといかん」と挨拶したという。確かに方言は心にずしりと響く。気持ちを的確に表現しているようにも思える。

「どないかせなあかん」とか「なんとかしねばまいね」とか、問題意識を持った地方がどんどん出てきて、自らのことばで発言し出せば、地方の知名度はどんどん高まり魅力も増すことだろう。こうして埼玉県や東京都のインパクトが低くなる日がいつか来るのかもしれない。

「なんとかしなくっちゃだめかもね・・・」

参考資料：
面積－国土地理院　平成 19 年全国都道府県市区町村別面積調のデータ
人口－総務省統計局発行「統計でみる都道府県のすがた　2007」のデータ
観光客入込数－観光客入り込み数の年次別推移（熊本県庁資料より平成 16 年のデータ）

３キロ削減計画

　最近朝起きるとなんだか体が重い。顔がむくんでいる。階段をワンフロア分上っただけで息切れする。ずっと嫌な予感はしていたものの気付かなかったふりで体重計には乗らないようにしていたところ・・・。今朝ジーンズを履いてみて愕然とした。なんとお腹の肉がジーンズに乗っかっている。

この腹肉をどげんかせんといかん！！

　というわけでまずここのところの生活を振り返ってみた。そういえばほとんど家で食事をしていなくて外食中心だったことに気付く。しかもコンビニ弁当とかマックとか、無駄に高カロリーで体にも良くない物ばっかり食べている。おまけに朝起きられずその分夜更かしになり夜中にお菓子を大量に食べてしまう。そのうえ運動していないどころか家でも学校でもほとんど座りっぱなし。・・・と思い当たる原因が多過ぎてなんだか目眩がしてきたのでとりあえず次の三事項だけは厳守することにした。

① 朝は８時までに起床

② 間食禁止

③ 毎日ストレッチ＋腹筋背筋

　そして１日目。バイトの日なので７時３０分に起きる。朝ご飯と一緒に野菜ジュースを飲み、いつもより一つ遠くの駅まで歩いて電車に乗る。いい感じ。バイト先のカフェでお昼ご飯を食べ、いつもは夕方に食べるケーキを今日は我慢。そして帰宅し、夕ご飯を食べてから半身浴で一時間位お風呂に入り、ストレッチをして腹筋と背筋を５０回ずつして気持ちよく就寝。

　２日目。授業は午後からだけど８時にセットした目覚ましを止めて二度寝しそうになる。が、スヌーズ機能でなんとか起床。起き上がるとお腹がひどい筋肉痛で朝から憂鬱。授業が終わった夕方、突如睡魔に襲われて研究室で爆睡してしまい、締め切りのせまったレポートを仕上げるともう９時。帰宅して夕ご飯とお風呂の後、腹筋背筋をするも、筋肉痛がひどすぎて２０回ずつで断念。布団に入っても昼寝をしたせいでなかなか寝付けず、本を読みながら眠る。

　３日目。８時に鳴りだした目覚ましを壁に投げつけて二度寝したらしい。はっと気付いて目覚ましを確認すると壁際で電池が外れてしまっている。携帯を見るともう１０時。・・・駄目すぎる。夕方に研究室のみんなと頂き物のお菓子を食べてしまう。そして久々に会う約束していた友達とご飯を食べに行き、さんざん飲んで帰宅。筋肉痛も治ったことだし、今日は気合いを入れて腹筋しなきゃ、と思っているうちに意識が遠のく。

　そして４日目。意地でも体重計に乗らない日々がまた始まる。

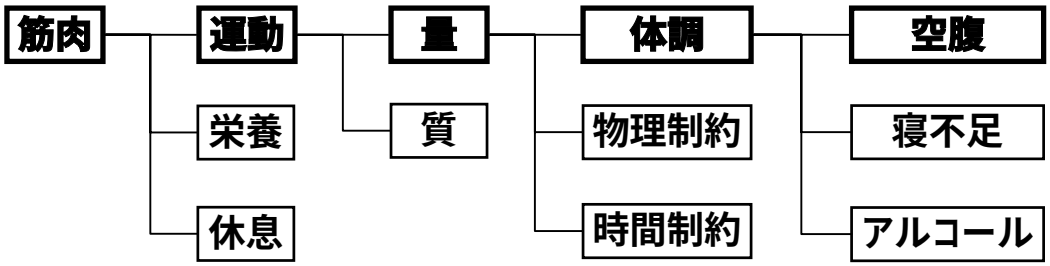
筋肉を取り戻せプロジェクト

●問題の設定〔筋肉の衰退〕

最近、私の筋肉の減りが激しい。筋肉がないと弱々しく頼りない印象を与えてしまうので、私は対人関係において非常に良くない状態にある。従って、ある程度の筋肉量の確保が急務である。

●原因の特定〔空腹感〕

筋肉の衰退を解決していく為に、そもそもなぜ筋肉が減ってしまったかを講じる必要がある。まず、筋肉を維持していく為に主に必要なものは「運動」「栄養」「休息」である。私は常にタンパク質を摂取するように心がけているし、睡眠時間もある程度確保している。明らかに**「運動」**が充実していない事は直感的に理解できる。肥大な筋肉を維持するには、有酸素運動より負荷の強い運動が適している。私は自宅で「質」の高い効果的な筋トレを行っているが、**「量（回数）」**が足りていない。筋肉を鍛えるには継続して２日に一回はトレーニングしていく必要があるが、現状では週に一回しか行っていない。何とも恥ずかしい限りだ。では、なぜ定期的に筋トレの時間を確保する事が出来ないのであろうか。場所や設備に関する「物理制約」や「時間制約」よりも**「体調」**により筋トレを断念するケースが多い様な気がする。「寝不足」、「アルコール」、「空腹」等の理由でトレーニング効果が期待できない場合には、筋トレを控える様にしている。最も該当すると思われる項目は**「空腹」**である。体内のエネルギーが欠乏している時に運動すると筋肉が消費されてしまうので、寝る前に筋トレをしようと思っても空腹により断念する事が多い。家に食料があれば良いが、頼みの母親は家族４人の不規則な生活により炊事を断念してしまっている。母は頼まない限り食事を作ってくれる事はない。



●対策〔母へのメール〕

原因が分かった時点で問題はほとんど解決したようなものである。夜帰宅して筋トレをしようとする際に空腹を感じない様にすれば良い。母に作ってもらうのが最もコストが低い、かつ実現可能性の高い解決法である。筋トレを行う日の帰宅１時間前に、母親に食事を用意してもらえる様メールでお願いすれば良い。メニューはエネルギー源となる炭水化物を中心に頼んでみよう。タンパク質をふんだんに含んだおかずもあると望ましい。その為には常に母親の機嫌を損なわない様にする必要があるのだが、実はこれが一番の問題なのである。従って、次回プロジェクトでは母親の機嫌の向上策を考案していきたい。

こどもが本を読まない！

こどもが本を読まなくなっている。このままでは読まないのでなく、読めないこどもが増えてしまう。
どげんかせんといかん！！
こどもが本を読まなくなった主たる要因として次の 4 点を挙げたい。①本が身近にない（家庭の蔵書が減っている）②読むべき本がわからない③本が楽しくない④本を読むのがかっこよくない。これら問題点全てを解決し本を読むこどもを育むべく、我々「本を読まないこどもが国を滅ぼす！の会」では「（仮称）キッザニアン・ライブラリー」を提案する。

（仮称）キッザニアン・ライブラリー

（室内暗くなりスクリーン降下、映像スタート）　シルバーのボディスーツに身を包んだ女性、こどもたちを引率してくる。
「よいこのみなさーん、こんにちは～」（こんにちは～）
「ようこそ、キッザニアン・ライブラリーへ。わたしはナビゲーターのキッザニコです。今日は一日よろしくね！
ところでみんな、手はよく洗ったかな？　（は～い）　OK！では、出発しまーす！」

第一の部屋

さあ、ここが何だかわかるかな？ここはね、「**ブックマスターズ・キューブ**」よ。小さなサイコロみたいなお部屋がたくさん見えるわね。かわいい部屋も汚いのも、きれいな人もそうでもない人も。でも、どのお部屋も机の後ろに本棚があるの、わかる？あの棚にはね、部屋の持ち主お気に入りの本 100 冊が並んでるのよ。さあ、好きなお部屋に遊びに行って来て。携帯小説に詳しいお姉さんもいるわよ。縦横ななめどこにでもあのエスカレーターで行けるけど、安全のために黄色い線は踏まないようにね。え？あの嵐のコみたいなお兄ちゃんの部屋に行きたい？うーん、人は見かけに寄らないけれど、本を見た目で選ぶのはアリかもねえ。そうそう、本は全部で 5 冊まで借りられるわ。お話を聞いて面白そう！って感じたら借りてみて。あ、お部屋を訪ねたら、まずはマスター・チャット・スタンプを押してもらうのも忘れないでね。

第二の部屋

さあみんな、本は見つかったかな？ちょっと待った、そこの君、落ち着いて。まずこの部屋の使い方を説明するわよ。この広い部屋はね、「**トライ＆エラー・ホール**」と呼ばれているの。ここでみんなはさっき選んだ本を開けてみるの。ほら、そこのソファもこたつもハンモックも使っていいわ。足湯もマッサージ・チェアもあるし、ひとり静かに集中したい子にはコクーン・カプセルも用意してるんだから。好きな格好で読んでね。飲み物も飲み放題（メニューは野菜ジュースだけだけど）。そうそう、読書に飽きたらあっちの暗い一角ものぞいてみて。あれは「キリウッド」。映画になった本ばかりを集めてあるスペシャルなコーナーなの。もちろんDVDも見られるわよ。そのおとなりも見逃しちゃダメ。「バーチャル・キリウッド」って言ってね、今は「ぐりとぐら」のキャスティング会議をしてるとこ。誰でも本を映画にできちゃうのよ。

第三の部屋

読書、楽しんだかな？それじゃあ、最後のドアを開けるわよ。そーれ。ここはね、「**ファイナリスト・ステージ**」。見て、たくさん額がかかっているでしょ？あれは歴代の「キッザニアン・マスター」たちよ。「キスカー像」を持ってるわね。あ、そっちはダメ！そこはVIPルーム。マスターだけが集える特別室。みんなもいつか入れるといいわね（遠い目）。ちなみに、あの分厚いドアは網膜認証じゃないと開かないようになってるわ、残念。え、あっちの人だかり？今ステージに上がってる彼も「キッザニアン・マスター」よ。若干十歳で、最年少のマスターなの。彼も第一の部屋に本棚を持ってるんだけど・・・あ、行ってみた？棚、ほとんど空っぽだったでしょ。彼の本は常に貸し出し中、予約殺到なの。え？ファッションセンスがいまいち・・・そうね、それは認めるけど、でも、あの女の子達の熱狂を見てよ。今は、おすすめの新刊について話してるみたいね。ちなみに彼の専門分野は冒険もの、ロールプレイング系よ。ところで、第二の部屋で本を読み終えたお友だち、手をあげて！まあ、すごいわ。ねえ、感動が覚めないうちにレビューを書くのはどう？感想文だなんて思わないで。たったひとことでもいいし、絵でも音楽でもいいのよ。自由に気持ちを表現してみて。残念ながらお気に入りの本に出会えなかったお友達もがっかりするのは早いわよ。他の人のレビューをのぞいてみて。面白い本、まだまだたくさんあるんだから。

「じゃあ、みんな、今日はほんとうにありがとう！これからも本を楽しんで！ちゃお～。」（映像終了、スクリーン上昇、室内点灯。）

いかがだろうか。おわかりのように、第一の部屋「**ブックマスターズ・キューブ**」では、先にあげた問題点②読むべき本がわからないの解決を図っている。様々なジャンルの本を知り尽くした専門家がこれぞという本を見つける手助けをする。そして、第二の部屋「**トライ＆エラー・ホール**」では問題点③本が楽しくないを解消すべく、選んだ本をより楽しく読めるような読書空間を提供し、映像を媒介としたより親しみやすい本の世界をも紹介する。さらに、第三の部屋「**ファイナリスト・ステージ**」では、問題点④本を読むのがかっこよくないの解決に向け、本好きなこどもが尊敬されるような舞台設定を行い、さらには読書落伍者が再びやる気になるような仕掛けを試みる。そもそもの問題点①本が身近にないをどげんかすべく、この「（仮称）**キッザニアン・ライブラリー**」を全国津々浦々に配備することを強く所望する。以上、「本を読まないこどもが国を滅ぼす！の会」よりご提案申し上げる。総理のご英断を切に願う。

「証明写真の写り方」

証明写真の写り方がひどい。平成一〇年、パスポートの更新で使った写真は、凶悪な殺人犯人のようだった。一〇年間使用するということをあまり考えずに選んだ写真だったが、見事に失敗した。成田では何度か顔を凝視されたし、米国での入国審査のときもテロリストと間違われたらどうしようか、小心者の私はどきどきした。

もうひとつは運転免許証である。こちらは今を去ること五年前、パスポートの失敗で多少は懲りていた私は、更新の手続前に美容院へ行き、その足で警察署へ向かった。ところが、その後更新された免許を引き取りにいって仰天した。今度はどうみても「覚せい剤密売人」だ。「覚せい剤密売人、白昼の新宿にて逮捕」という新聞の見出しが頭をよぎった。

そして平成二〇年の今年、パスポートと免許の更新年が重なった。パスポートの写真は事前に提出ができるからいいが、免許証のそれは警察署においてリハーサルなしの一発勝負である。困ったことに、最近では本人確認のためと称して他人に呈示する機会が増え、免許証における写真撮影の失敗は、以前にも増して許されない状況にあるといえよう。そこで、証明写真の写り方で失敗しないようどけんかせんといかんのである。

まず、昨今のデジカメの普及率は目を見張るものがあるし、携帯電話にもカメラが付いている。写真を撮ることも撮られることも、五年前と比較すると格段に慣れてきているということができよう。そこで自分なりの《キメ顔》をデジカメで日夜練習するという対策方法が挙げられる。

次に、警察の制服を着た家族あるいは知り合いに撮ってもらうという方法も検討に値するのではなかろうか。ひょっとするとあの制服が緊張する原因かもしれないからである。

いっそのこと思い切ってプリクラスタイルにしてはどうだろうか。カラフルなビニールシート（警察のマスコットキャラクターをプリント）をめくれば、そこには見慣れた画面があり、安っぽいデジタル音（パトカーのサイレンをアレンジ）が流れている。もちろん代金も自腹である。ゲームセンターよりも若干安めの金額に設定しておくとよいだろう。撮り終えたら画面でチェックして、仕上がりが気に入らなければ遠慮なく取り直しをすることもできる。これによって人件費削減にもつながるし、撮られる側も過度の緊張から解放されるので一石二鳥である。財政難をどげんかせんといかん大阪府あたりから、率先してこのプリクラスタイルの導入を検討してほしい。

ぼやぼやしてはいられない。

五年に一度しかない運命の九月はもうじきやってくる。

「どげんかせんといかん」

私は、いつも「どげんかせんといかん」と思いながら生きてきた。「この世の中を」なんてことではなく、「自分自身を」である。

大学時代、奨学金とアルバイトに加えて、姉夫婦宅で夕飯を食べさせて貰って生活していた。でも苦学生ではなかった。なぜなら勉強しなかったから。建築家になりたくて苦労して大学に入ったはずだったのに、その夢を実現させるための努力を何もしなかった。それは夢というよりは単なる妄想でしかなかったのかもしれない。そんな意志薄弱な自分が嫌でたまらなかった。

どげんかせんといかん。途上国の学生のために工学系の大学院教育を行う国際教育機関がタイにあるという話を聞き願書を出した。英語なんて全くできなかったのに、日本びいきのタイ国王の奨学金を得ることができ、生まれて初めて飛行機に乗り知らない国に旅だった。全寮制のキャンパスで二十カ国の途上国の学生達と共に生活し勉強したことが契機となり、卒業後、ＯＤＡの仕事に就いた。

でも実社会の現実は厳しく、いつしか、また「どげんかせんといかん」人間になっていた。

四年後、バンコク駐在員として再びタイに渡った。当時は毎日のように出張者を空港に送迎し、夜遅くまで接待をするのが駐在員の役目だった。タイ人と結婚したフィリピン人の元クラスメートと再会した時、思わず愚痴をこぼした。そしたら彼女は、全く予期できなかったことを口にした。「私は人が喜ぶ顔を見るのが大好き。だから、あなたの仕事が羨ましい。」

ある時、タイで最も貧しい東北地方で実施していた初等教育事業の現場に行った。のこぎりやかなづち等の日曜大工用具が、きれいに配置されて壁に掛けられているのが目に留まった。これらの用具を使って、先生達が、休日等を利用して、理科の教材を作ったり、学芸会用の看板を作ったりするのだと、案内してくれた校長先生がうれしそうに説明してくれた。

白と紺のユニフォームを着たかわいい子供達が、ＯＤＡで供与されたエレクトーンやドラム、それに、この地方の伝統的な笛や弦楽器を使って歌や演奏を聞かせてくれた。子供たちは素直で明るかった。しかし、校長先生によると、小学校を卒業して中学校に進学できる子供は、この地方では二割程度で、多くの子供たちは何の技術も持たないまま、家の農作業を手伝うか、バンコクなどに出て働かなければならないとのことだった。だから楽器を上手に弾ける子供や歌の上手な子供には、将来、ホテルのレストランなどで歌を歌い楽器を演奏するミュージシャンとなって、自立して食べていけるようになることを期待しているのだという。音楽は単なる情操教育ではなかった。

天真爛漫な子供たちを前にして、この時、私は初めて東北タイの厳しい生活環境と、そこで暮らす人々の人生哲学を垣間見たような気がした。私は既に齢三十を過ぎていたが、自分という人間の愚かさ加減に、この時、ようやく気がついた。

その後も、いろんな国でいろんな人々と出会い、教えられ、助けられてきた(助けてきたのではない)。人は誰でも、「どげんかせんといかん」と思いながら真剣に生きている。自分のこと、友人のこと、家族のこと、地域のこと、自分の国のこと、地球のこと。でも、その解決策は、自分自身で模索し続けていくしかないのだと思う。なぜなら現実の世界は不条理に満ちていて、高校数学のように明快で定まった解など存在しないからだ。

サムサシラズ

今年はひさしぶりの「寒い」冬だった。天気予報の「今日は一段と冷え込みが厳しくなるでしょう」というアナウンサーの言葉を聞くたびに、ああまた今日もかと落ち込むことが多い私である。筋金入りの冷え性とともに２０数年生きてきた私にとって、この「寒さ」は本気でどげんかせんといかんものなのである。平成のこのご時世において、手足のしもやけに悩んでいる人はそういるまい。研究室のハードワークで徹夜をし、その朝方の私の手の冷たさは尋常ではない、お前これで生きているのかと友人に驚かれるほどである。そしてこの間経験した冷え性がらみの最悪の事件といえば、銀行のATMでのこと。最近のキャッシュカードはICが内蔵され、手のひらの静脈をスキャンして本人確認をしなければ引き出しができなくなっている。寒風すさぶ中頑張って銀行までやってきた私は、この静脈スキャンにことごとく跳ね返されてしまったのである。何度やってもエラー。本人に間違いないと本人が一番よくわかっているだけに情けないやら、そして後ろの行列の方々に申し訳ないやら、結局手のひら認証のいらないコンビニのATMで引き出すこととなった。

今年は、絶対に寒さに負けないぞと、その事件をきっかけに思いを新たにし、本格的に防寒対策をとることにした。冷え性の師匠ともいうべき私の母の助言を忠実にまもり、まず重ね着である。「首とおなかを暖める」というのは母の言葉だが、つまり首、手首、足首、おなかを暖めればいいらしい。靴下二足にレッグウォーマー、あったかインナーにタートルネック、手袋も二つ、首はマフラーでぐるぐるに巻き、仕上げに耳当てである。完璧な仕上がりである。外に出ても全く寒さを感じない。なんか太った？とよく人に尋ねられるようになったが、そんなことは気にしてられない。靴下の消費量が二倍に増えて、洗濯が大変になったがそんなこともどうでもいい。寒くなければそれでいいのだ。

次に、室内での防寒である。研究室用には、電気膝掛けなるものを購入した。これは世紀の発明品だと思う。いうなれば一人こたつである。研究室での作業が格段と幸せなものになった。そして家用には、ルームシューズソックス（膝まである毛糸のブーツのようなもの）とゆたんぽを購入した。温故知新とはよく言ったもので、昔の人の知恵はすばらしい。ゆたんぽを発明した、名もなき人々にここで感謝の意を表したいと思う。

最後に生活習慣の見直しである。体を冷やすというコーヒーの摂取を控え、代わりに緑茶やウーロン茶を飲むようにし、食事では暖かいスープや鍋を積極的につくるようにした。シャワーだけですませず、浴槽につかるように心がけたり、運動を取り入れたり、改善の道に終わりはない。

防寒対策の効果はてきめんであった。風邪っぴきの私がまだ寝込むこともなく、しもやけもできず、外にでることも億劫になっていない。くだんの ATM も二重手袋のおかげで軽くクリアした。元来面倒くさがりやの私がここまで自分のために努力していることに、自分が一番驚いている。寒かったり乾燥していたり、環境的に住みにくい地域のほうが文明が栄えるときいたことがあるが、人間は自分の生存のためにはちゃんと努力するものなのだなとしみじみ実感する今日この頃である。

教室のオアシス

「ねーねー今回一列目の端に座っていた子かわいくなかった？学科どこかなぁ？おまえ次回の授業話しかけてよ（笑）」研究室に入ると堰を切ったようにタクヤが話し出した。今日は 2007 年最後の授業だった。そして授業が終わったので、コンビニで適当にご飯を買い、とりあえず研究室に戻ってきたのである。「あーなんかこの授業楽しみになってきた！次回いつだろ…一月！？遠ぉ。」カレンダーを見たタクヤは本当に悔しそうだ。「あーなんで今まで気付かなかったんだろ。ねぇ、話しかけるとしたら、どうやって話しかけるの？」タクヤはいつもこんな調子である。別に話しかけるなんて一言も言っていないし、大体端に座っていた子を見ていない。ただ、仮に非常に美人が授業にいたとして、自分だったらどうやって話しかけるのだろう。おもしろそうなのですこし考えてみた。

普通、授業中は話しかけることはできない。そうすると授業の前または後が勝負となる。授業前なら、ちょっと早めに行って、廊下で教室が開くのを待っている時などがチャンス。そこで彼女が現れれば「宿題やった？」など適当に話しかければいい。授業後だと、少し無理やり話しかける状況を作らなくてはならないだろう。しかしうまく話が弾めばそのまま一緒にお昼に行けるかもしれない。

ただ、上の話は一つのことを大前提としている。それはその彼女が授業前に余裕を持って現れる、または授業後すぐにどこかに行ってしまわないという事だ。しかし、この東京工業大学はその前提は成り立たない。なぜならば、ほとんどの人は授業前に前もって来るのではなく、ぎりぎりもしくは遅刻してくる。そして授業が終わった後は、先を争うように教室から出て行くからだ。この日の私も同じである。すこし早く学校についたが、駅周辺のコンビにで雑誌を読んで時間をつぶし、わざと少し遅刻してきた。そして授業が終われば、すぐに教室を後にし、こうして研究室に来た。

何故このような行動を取るのだろうか。なぜならば、講義室とその前にある廊下は居心地がわるく、居場所がないからだ。だから用がなければ一刻も早くそんなところを後にし、比較的近くで、そこよりは居場所を与えてくれるコンビニの雑誌コーナーや研究室に行ってしまいたい。

しかしこれはどうにかしないといけないだろう。講義室は講義をする場所だから、多少居心地が悪いにしろあの形式が最良である。しかし大学の廊下は、単なる通路の機能だけでなく、授業前の生徒が待機する機能、そしてその貴重な時間に学生同士の交流を育む機能があると私は思う。ただ、この大学の廊下は薄暗く狭い、単なる通路でしかない。これが問題の根源にちがいない。環境がいけないから、私はどんな美人が教室にいても、話しかけることはできないだろう。私はこう結論付けた。

さて、一月になり、次の授業の日。授業後コンビニに行こうと教室の入り口でタクヤを待っていると、タクヤがとても美しい女性と出て来た。「ごめん、今日はこれから二人で遊びに行くから。じゃあね。」そう言って二人は行ってしまった。後日話を聞いてみると、その美しい女性が、例の端に座っていた子らしい。電車で偶然同じ車両になり、そこでなんとタクヤは思い切って話しかけたそうだ。そしてもう二人は付き合っているらしい。

結局環境なんて関係ない。環境や周りの目線を気にして、結局なにもできない自分こそ、本当にどうにかしないといけないな、と私は思った。

限界マンションと防災対策

１．問題

「限界マンション」という言葉があります。山村などの条件不利地で 65 歳以上が人口の過半数を占める集落を「限界集落」と呼ぶことから類推されたものです。「限界マンション」についての定義はなく統計も整備されていませんが、建物の老朽化（高経年化）と居住者の高齢化が同時に進行し、管理組合運営が困難になるなど、さまざまな問題が生じているマンションのことをイメージしています。老朽化については、国のマンション建替え支援制度が、税法上の耐用年数（47 年）の１／２（約 24 年）ないし１／３（約 31 年）を経過したものを支援対象としているように、築 30 年程度で「老朽化」が云々される建物も少なくありません。10 年程前まで、マンションを仮住まいと考える人が多かったことも、建物が劣化しやすいことの背景にあるでしょう。

ここで具体的に東京都の中でもマンションの多い、江東区を例に挙げて「限界マンション」の現状について説明します。「江東区マンション実態調査」（平成 14 年・2002）によると、昨年で築 30 年超になったマンションは区内に 50 棟あります。また、新耐震基準施行（1981 年）以前に竣工したマンションは 220 棟です。（築 30 年超の 50 棟を含む）高齢化については、前記調査が実施された 2002 年の時点で、マンションの竣工年別に 60 歳超の世帯主が占める割合は、1971～75 年竣工が 35.1%、76～80 年竣工が 30.3%、81～85 年竣工が 25.6%です。築年数が経過するにしたがい高齢者が増える傾向にあります。旧耐震基準で建設された 221 棟のマンションの大部分は、現状のままでは、おそらく耐震改修等も行われないでしょう。３年後の 2011 年に、これらのマンションはすべて「老朽化」のひとつの目安である築 30 年超になり、居住者の 30～40%を高齢者が占めることになるはずです。

この「限界マンション」化が進むことで、最もその影響が顕著に現れるのが災害時でしょう。マンションは堅固なうえに、さまざまな機能が集約された便利な住まいである半面、段差の解消が簡単にできません。特に災害時に電気・上下水道などのライフラインが途絶した場合は、「バリアの塊り」にもなるという弱点をもっていますが、これを解決することも原則として住民の自助努力に委ねられています。このような状況におかれた時、高齢化の進んだ限界マンションではこの災害を切り抜くことは困難であると思われます。

２．解決に向けて

まずは、マンション居住がこうした課題や危うさを抱えていることを、マンションの関係者は自覚しておくことが必要です。築年数が経過し高齢の居住者が増えても、既存マンションでユニバーサルデザインの視点をもって、様々な人々や企業や団体が協働すれば、「限界マンション」にしないことが可能です。災害対策を念頭においてマンションのハードとソフトの現状を見直し、改善プログラムをつくり、出来るところから実施する――実は、こうした一見当たり前のことも多くのマンションでは、まだ行われていないはずです。現在のところ、マンション管理のプロを自任する会社や専門家も、問題意識はあっても具体的な取り組みが出来ているとはいえません。

つまり、まずは住民間の話し合いのもと、今できていないこと、できること、しなければならないことを明確にすることが解決への最善の一歩であると考えます。

2 月 11 日の日記

　明日は彼女の誕生日だ。2 週間ほど前から毎日のようにアピられているので、嫌でも忘れることはできない。たしかご希望は「夜景のきれいなお店でフレンチのフルコースのディナーをして、その後はオトナの雰囲気漂うバーに行って、あ、プレゼントはエルメスの新しいバッグが欲しいんだけど…」だったかな。

　しかし僕にはそんなレストランとバーを探し出して予約をし、お気に召しそうなバッグを買っている時間的余裕はない。

　まず今日中に、白紙状態の○△不動産のエントリーシートを仕上げなければいけない。そして明日の午後４時からは、×◇建設の面接が待ち構えているのだ。しかも明日は、修士論文の最終発表会で、切羽つまった先輩のお手伝いもあるだろう。それに確か、明日までに提出しなきゃいけないレポートもあったような…

　しかしこんなことは彼女に対して何の言い訳にもならない。以前に就活の説明会が入ってしまい、彼女が熱狂的ファンであるインディーズバンドのライブに行く予定を泣く泣く断ったときには「私と就活とどっちが大事なの？」なんてことを聞かれたものだ。困った僕は「いま就職活動をしているのは、いい会社に入ってお前を幸せにするためなんだよ」なんて、アホみたいな回答をしたものだった。

　ここで粗相があってはならない。なんといっても、しあさってはバレンタイン♪なのだ。普段はわがままで困った彼女だが、自称お菓子を作らせたら右に出るものはいない、とのことなので、とても楽しみにしている。しかし、もしも誕生日にへそを曲げさせてしまうようなことがあったら、今年のバレンタインもチョコなし…になるに違いない。

　あ〜、自分という人間が 2 人いれば、もう 1 人にエントリーシートやらを任せて、明日のデートのプランニングをするんだけどなあ…
　いや、そんなことを考えてるヒマはない。とにかくこの状況、どうにかせねば…

　とりあえず絶対にやらなきゃいけないことは、エントリーシートを書くことと、レストランを予約することだ。プレゼントは明日一緒に買いに行けばいいし、バーもその場のノリで何とかなる。先輩の発表も自分がいなくても何とかなるはずだし、明日の 30 時締め切りだかのレポートも、出さないと単位が来ないってことはないだろう。

　よし、ぐるなびの「夜景のきれいなお店」とかの特集で、一番上に表示されたレストランを予約して、彼女には「君のために最高のお店を見つけたんだよ」とか言うことにして、今はエントリーシートに全力を注ごう。我ながら、この割り切りのよさには感動してしまうな。

2つの穴

「昭和四十年の地図に河川をプロットしたものがないっ。」

気づいた頃には、私の目の前にはプリントとファイル、そして、借りてきた図書が広がっていた。かろうじてパソコンの画面が存在を主張している。

「これは、さっき間違えてプリントアウトしたやつだし。」

「あれっ。ないっ。ないないっ。」

ggggggggggggggoooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooo

どうやら持ち上げたファイルの角で誤ってキーを押してしまっていたらしい。

この瞬間、私は大海原の中にいた。

波を必至にかき分けるも、目的のものはみつからない。

つい先週まではこの海も穏やかなものだった。

お気に入りのカレンダーが飾られ、守り神のシーサーもきちんと並んでいた。

荒れ狂う海原では、もはや彼らの存在を確認することはできない。

おそらく、今この瞬間も海の底で発見されるのを待っているはずだ。

ついにこの光景を見かねた隣の島の民が叫ぶ。

「チオサントイカン」

彼の島にもこの危機が迫ろうとしていた。

幾層にも重なった波は今にも津波となって彼の島へ到達しそうであったのだ。

「チオサントイカン」

これは、南の地方からこの地に流れついた漁師が伝えたまじないのコトバである。

その言葉によって私はひらめいた。

ひとまず、捜索を中断した。そして、この荒波を沈めることにした。

私はひと波ひと波にパンチングを行った。2つの穴が開いた波は次第に静寂を取り戻す。

仲間どうしが集まり、順番に並び始める。仲間外れはウラガミとなる。

「昭和三十年、昭和三十五年、昭和四十年！」

ついにこの瞬間が訪れる。目的のものだ。

だが、次は見失わないようにと。最後の波が静まるまで私は続ける。この静寂を忘れまいと。

「昭和四十五年、昭和五十年、昭和五十五年、…」

赤ちゃんを増やさんといかん！

　出生率の低下が社会的問題になって久しい。昨年の日本の合計特殊出生率は 1.32 人で、６年ぶりにやや上昇したものの、既に日本は人口減少社会に転じており、このまま推移した場合、2055 年には約１億人まで減少し、超高齢社会になることが予測されている。
　地球温暖化などを考えると、一概に、子供が増え人口が増加することがいいとは言い切れない面もある。しかし子供の数が減れば、社会の活力や持続性が失われることになる。それに何より「微笑ましい存在」が見られなくなるのは個人的に寂しい。

　出生率低下の原因はいくつか考えられる。高学歴化や女性の社会進出により晩婚化･未婚化が進んだこと、家族や出産に関する価値観が変化したこと、教育費などの経済的負担が増大したこと、また環境問題や凶悪犯罪の多発など社会に対する漠然とした不安もあげられる。さらに環境ホルモンの影響で、オスのメス化傾向が強まり、妊娠が困難なカップルも増えている。実際、某大学医学部の男子学生の精子を調べたところ（数、形、運動量ともに）正常な精子を持った男子学生はわずかだったというデータもある。

　こうした課題を克服し、赤ちゃんを増やすにはどうすればいいのか。
　国もエンゼルプランなどを作り検討を続けているが、ここではそれにない提案をしたい。
　一点目は、男性が女性の働き方にあわせた働き方をすることを提案したい。以前オランダを訪れた時、４時頃子供を自転車の後ろに乗せて帰宅する父親の姿を良く見かけたが、オランダでは夫婦２人で 1.5 人分の働き方が定着しており、男女ともに「親」として平等に子育てに関われる仕組みがある。子供に負担のかかる育児時間延長や、周囲に気兼ねしながらの育児休暇制度ではなく、共に子供を安心して育てられる働き方が不可欠である。

　二点目に、基本的に教育費を 15 歳まで無料にすることを提案したい。教育を受ける権利は基本的人権であり、親の経済的理由でそれが阻害されることは許されない。「民営化」の名のもとに、教育までが「商売」になってしまった現状を見直し、全ての基礎にある「人間」を育てることにこそ税金を投入すべきである。道路よりも「人間」を育てよう。

　三点目に、若者には化学物質、ＩＴ漬けの生活から脱却し、バランスの取れた食生活とストレスを溜めない「人間らしい生活」を提案したい。カロリーメイトやサプリメント、メールやブログからは、本当の健康も、本当の愛も生まれない。

　そして最後に、日本が以前のように「子供を大切にする国」に立ち返ることだ。
　明治初期、東大で教鞭をとったモース・エドワースは、滞日記録『日本その日その日』の中で「私は世界中に日本ほど赤坊のために尽くす国はなく、また日本の赤坊ほどよい赤坊は世界中にないと確信する。」と述べている。これこそ日本の誇りであり、赤ん坊、すなわち次世代が健全に生まれ育ってこそ、持続可能な社会である。

　何もかも「どげんかせんといかん！」崩壊状態にある日本、脱出の糸口はそこにある。

人類に告ぐ

我々の生活はかつてない危機に直面している。

我々同胞の生活を支えているのは、豊かな土壌と植生、そしてそれら環境に支えられた豊富な食料資源である。

ところが今、豊かな環境は次々と破壊され、地表は石油由来の物質で塗り固められようとしている。王宮法律研究所が急遽チームを立ち上げ、調査を行ったところによると、人間達が我々王国の支配領域に作ろうとしているのは「トシケイカクドウロ」なるものであり、当の人間でさえ立ち退きを迫られる程のものであるという。我々は王国の危機を直視し、女王陛下並びに同胞共々難民となるという最悪の事態を何としてでも避けなければならない。

我々に残された選択肢は次のとおりである。

第一に、現在の地にとどまる方法である。ところが過去の事例からは、地表が塗り固められると高温状態になりやすく、地上活動が著しく制限されることが判明している。

第二の方法は、多くの人間の巣に併設されている「ニワ」への移住である。しかし、限られた面積ゆえに食料は豊富ではなく、人間の巣にまで活動の場を広げていった結果、「アリノスコロリ」なる大量殺戮兵器の前に悲劇をもたらした過去を鑑みれば、この方法に将来性は無い。

第三の方法は、急激な環境変化に脅かされない場所への移住である。候補地としては、人間界において「ガッコウ」や「コウエン」と呼ばれる地域が挙げられる。とはいえ、こうした地域には他の同族諸侯らが集結しており、既に人口過多の傾向にあるのみならず、小型の人間による踏み潰しや水攻めなど、我々に対する攻撃が幾度となく発生している現状から察するに、大きなリスクを伴う決断である。

しかし、これら代替案を実行することそれ自体が、人間による暴力的行為同様に、我々の生活を支える環境全体に大きな影響を及ぼすことを忘れてはならない。我々は、人間に求めるのと同様に、決断に際し十分に慎重かつ謙虚になるべきである。

問題の核心は、我々と人間とではあまりに力の差がありすぎることにある。人間は、我々の存在を過小評価し、意見に耳を傾けることはなく、また我々の行動により環境が変化することを全く認識していない。我々の間で決定的に欠けているのは、相互の意思疎通である。

リスクを伴う決断を下し、取り返しのつかない事態となる前に、今一度人間達に対し、我々が直面する危機的状況を伝えることで、暴力的行為を少しでも改めてもらうよう働きかけることを諦めてはならない。

そこで、本声明を1ミリメーター四方の巨大な紙に書き、要所要所にまくことを目下計画中である。同胞諸君において本計画に賛同する者があれば、協力を要請する次第である。

女王陛下に祝福あれ！

どげんか大賞　まじょコメント

講義版最終セッションは、「どげんかせんといかん　～問題点とその解決策を述べる」というユニークなお題でした。

今回は 29 作品エントリー（欠席投稿除く）のなかから学生コメンテーターさんたちが議論をして、選びました。よって晴れの本選登場作品すべてをご紹介します。

各県の審査報告書のなかから、セッション中のコメントも「各県の声」としてなるべく拾ってみます。

1　汚い部屋をどげんかせんといかん！　８位　２ポイント

あ～あ、出題者さんなのに。という表紙作品でした。

まあ、暮らしぶりがありありと見えてきたリアリティとともに、ロジカルライティング的に言えば、獲得目標が少しずつ下がってきて、「布団をたたむ！」にどしんと着地するあたりの流れが宜しかったかな、と。

某テレビ局に先んじてのすてきなお題、ありがとう！

各県の声：「問題解決の実現性が高い。それだけは評価できる」（C 県・銅）

「実用的！」（G 県・銅）

2　どげんかせんといかん　～都道府県　７位　４ポイント

白地図どころか県の名前も言えない大学院生に遭遇したこともあるので、冒頭のお話はふむふむだったのですが、大分と宮崎、こんなに違ってしまってるのか！　とオドロキ。

展開まではよかったのですが、解決策の提示が、もっと具体的であるとよりアピールしたのでは。

各県の声：「日本人なら都道府県は分かっとけよ、という地方出身からのエール」（D 県・銅）

「地図からの導入がおもしろい」（A 県・銅）

3　3キロ削減計画　９位　１ポイント

三日坊主。予想通りの展開ですが、書きぶりがコミカルで楽しめます。

敵は筋肉痛か！

各県の声：「後半のユーモア」（E 県・銅）

4　筋肉を取り戻せプロジェクト　　２位　12 ポイント

こちらも自己鍛錬モノでした。

チャート図が効いてますね。本文での展開をキーワードでしっかり構造化して、納得。この論理力と「どげんか銀メダル」を胸に、もっと大きな「どげんか」に取り組んでいただけることに期待。

各県の声：「問題点がわかりやすく万人に共有される」（B 県・銅）
「実現可能性が高い。周辺情報がたくさんある」（C 県・金）
「問題の設定・対策、分けて書いてよかった」（F 県・金）
「他と違って問題点の分析が行われていた」（G 県・銅）

5　キッザニアン･ライブラリー　　４位　10 ポイント

ゲストさん登場その１。ようこそ！

子供ものっぽいおもちゃ箱感全開ですが、ややツメコミすぎかなあ。３つの部屋に対応させるならば、問題点１は挙げなくても良かった気がします。

遊び要素を加えつつも、根幹はロジカル。たしかにね。いいブックガイドさんに出会うこと、みんなでわいわい楽しめること、読書体験をふくらませるためのツボを衝いてますね。

ちょっと CM。大学生に本を読んでもらうためのプロジェクト「ヒストリアンズ」始めました。詳細は近日中に OCW の「歴史空間特論」にて。

各県の声：「解決策と問題設定が明確」（B 県・金）
「問題と解決策がひとつひとつ対応している。実現可能性は低いかも」（C 県・銅）
「凝っている。問題にきちんと対応した解決策が良い」（H 県・銅）

6　証明写真の写り方　　５位　７ポイント

ゲストさん登場その２。お越しやす！

初めてお目にかかった作者さんは、華やかなロングヘアーにエレガントな微笑み、ハイセンスなドレス。凶悪密売人にはとても見えませんでしたけど。

で、作品は日常の小さなできごとを掬い上げて、さも人生の重大事のように語る、という落差からおもしろみがしっかり伝わってきました。誰でも経験することだけに、具体的な解決策も含めて、共感力大です。

各県の声：「プリクラが結論というのが面白い」（A 県・銅）
「プリクラという安易？な提案をした発想力」（D 県・銀）
「誰しも共感できるテーマ。解決策がイマイチ」（H 県・銅）

7　どげんかせんといかん　～自分自身を　　６位　５ポイント

キーワードが２つ。はじめに「自分自身を」と釘を刺す。そしてラストで「助けられてきた」と結ぶ。このふたことで、ともすれば年寄りのお説教と若者たちに取られてしまいかねない自分史を、しっかり読み手の心にとどめていただきました。

社会工学科の大先輩のメッセージ、人生探し中の後輩たちの支えになってゆきますように。

各県の声：「人生がみえる。個人的な話だけど真剣」（B 県・銅）

「テーマに沿ってはいないけど、共感できる」（H 県・銅）

「個人の問題を人類の問題に置き換えてあり、またその展開を不自然にしていない」（I 県・金）

8　サムサシラズ　　１位　14 ポイント

静脈スキャンという新しさで読み手を引き込んで、いくつもいくつも解決策を、あたかも重ね着のように積み重ねてゆくうちに、がんばれ作者さん！　と応援したくなります。

ふわっと人類全体へと広げたラストも GOOD ！　おめでとう、「どげんか金メダル」獲得！　春はもうすぐです。

各県の声：「問題と解決策に加えて、実施結果の評価もされていた」（G 県・銅）

「問題・原因・解決策ともに明確。スペースがあるとより読みやすい」（H 県・金）

「冷え症の人間にとって分かりやすい。取り組みが分かりやすい」（I 県・銅）

「問題設定→提案→解決までしている点」（J 県・金）

「わかりやすい。身近」（K 県・金）

「テーマをみたしすぎて解決策にあたらしさがない」（L 県＝学生コメンテーター県・銅）

9　教室のオアシス　　９位　１ポイント

ふむ、妄想？

環境のせいにしていたら行動力で負けたと、その部分は真実に通じてもいるようですが。

これも軽い日常の話題と見せて、ラストできっちり自己分析をしたところがロジカルの資格あり、と読みました。

各県の声：「空まわりに一票」（L 県＝学生コメンテーター県・銅）

１０　限界マンションと防災対策　　４位　10 ポイント

問題のしぼりこみは良いと思います。都心過疎という問題群に、シャッター街のようなありがちのものでなく、「限界マンション」というキーワードで斬り込んだ個性が◎。
まんなかの調査も手堅い。ただラストにバンと提示するべき解決策が「まずは話し合い」では、あまりに具体性に乏しいので、そこをしっかり組み立てたかった。
各県の声：「提案力・分析力」（E 県・金）
「対策が明言されていないのが残念」（F 県・銅）
「それなりに妥当な内容」（G 県・金）
「結局話し合いかよ！！」（K 県・銀）

11　2月11日の日記　　１０位　０ポイント

妄想ですかそうですか。
あれもこれもと課題がいくつかあるときに、とりあえずどれが最優先課題で、どれは後回しでも良いのか、「重み付け」したのが、ロジカル性に注目した場合のこの作品のキモかなと読みました。
各県の声：「ドタバタが面白い。ブログ風。」（A 県）

12　2つの穴　　６位　５ポイント

パソコン画面の中なのか現実なのか、状況がちょっと読みにくかったです。
まあそこが、この作者さんの作風ではあるのですけれど。
各県の声：「よく読めば面白い。ちょっと分かりずらかった」（A 県・銀）
「最後の行動に共感する」（I 県・銅）
「一風変わった作風」（J 県・銅）

13　赤ちゃんを増やさんといかん！　　３位　11 ポイント

問題点の説明でほとんどを占めてしまうことが多い中、この作品は提案にスペースの大半をあてた積極性で際立っていました。箇条書きでしっかりまとめて、提案は日本人の心性を踏まえて、と強い主張が伝わってきます。「どげんか銅メダル」獲得もむべなるかな。
各県の声：「提案力・分析力」（E 県・金）
「問題点+解決策が揃っていた」（G 県・銀）
「テーマにそって、おさまりもいい。提案は悪くない。（（L 県＝学生コメンテーター県・銀）

14　人類に告ぐ　　１位　14 ポイント

ものものしくアリ宣言。この口調が楽しさを呼ぶとともに、しかもしっかりロジカルに

展開。

読み終えて、「１ミリメーター四方の巨大な紙」という視点に立つと世界はどう見えるのだろうかと、ふっと考え込ませます。文章の完成度とともに、寓話としても秀逸。おめでとう「どげんか金メダル」獲得！

各県の声：「アリの視点がおもしろい」（A 県・金）

「地球環境に対する視点」（B 県・銅）

「アリの視点というミクロな世界への着眼点」（D 県・金）

「弱者をアリに例える比喩がうまい」（E 県・銅）

「イチオシフレーズはアリノスコロリ。テーマに合わせてなおかつ楽しい」（L 県＝学生コメンテーター県・金）